

2017 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 2 月 5 日作成)

小委員会名	鋼構造関連規準・指針の英文化小委員会	主査名：岡崎太一郎 就任年月：2015年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鋼構造運営委員会)	委員長名：塩原 等 主査名：井戸田秀樹
設置期間	2015年4月 ～ 2019年3月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	鋼構造に関わる学会規準・指針について、(a)英文化を進めて逐次刊行し、(b)海外に示す上での問題や疑義を整理し、将来の改定について提言すること。 初年度：『鋼構造設計規準(2005)』の英語版を刊行し、『鋼構造接合部設計指針(2012)』の英訳化を進める。 2年度：『鋼構造接合部設計指針(2012)』の英語版を完成し、刊行準備を進める。 3年度：『鋼構造接合部設計指針(2012)』の英語版を刊行、三冊目の英訳化を進め、『鋼構造設計規準』改定版の英文化を支援する。 4年度：2019年度大会でのPDを企画し、鋼構造関連規準・指針の国際発信、および鋼構造の海外発信に関する内外の意見を問う準備を進める。	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無	
	主査：岡崎太一郎(北海道大学) 幹事：松本 由香(横浜国立大学) 委員：沖 晃司(JFEスチール) 倉田 真宏(京都大学) 小山 毅(東京大学) 高木 次郎(首都大学東京) 松井 良太(東京工業大学)	
設置WG (WG名：目的)		
2017年度予算	250,000円	ホームページ公開の有無：無 委員会HPアドレス：

項目	自己評価
委員会開催数	5回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1. 『AIJ Design Standard for Steel Structures —Based on Allowable Stress Concept (2005 Edition)』【デジタル・オンライン版】(鋼構造設計規準 —許容応力度設計法 [英語抄訳版])
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 『鋼構造設計規準(2005)』英語版を出版した。(当初予定より遅れた) 2. 『鋼構造接合部設計指針(2012)』英語版の査読手続きを進めている。 3. 活動の集大成として、来年度のPD企画を進めている。
委員会活動の問題点・課題	1. 英語圏の鋼構造関連基・規準は、法律に準ずる位置付けにあり、長年にわたって構成と文章が整理し磨かれてきた。これに対して、学会の基・規準は、法的拘束力を伴わないためか、厳密性と厳格性に劣る。国際発信を進める上で、言語の問題以上に、この隔たりを埋める努力が必要であることを、構造委員会で意識共有する必要がある。 2. 査読意見が英文化の正確さ・適切さでなく、英語表現の可否に対するものである場合が多く、対応と説得が非常に難しい。 3. 学会刊行物を海外発信する上でWEB出版は有効な手段であるが、現状では版下原稿を作成する上で印刷業者のサポートを受けられず、活用しにくい。